

2016年5月16日

愛知県支部の第二回例会「講演会」

皆様が当たり前のように使っている道路などの社会資本が突然つかえなくなったらどうしますか？2012年12月の笹子トンネルの天井崩落事故や、愛知県に隣接する浜松市での原田橋の2012年4月の吊橋のケーブル損傷による全面通行止め、同橋の2015年1月の土砂崩れによる崩落事故など、社会資本の事故が身近な場所で発生しています。今回は橋梁に関する事例を中心に社会資本の維持管理の現状として、今どんな状況なのか、どんな取組みがなされているか、今後の課題は何か、等について講演していただく予定です。

愛知県支部として新たに加わった仲間も含め、会員相互の交流をよりいっそう深める機会にしたいと考えております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時：平成28年5月28日（土）14：15～16：15
2. 場所：名古屋学院大学 日比野学舎 3階301（交通：地下鉄日比野駅下車）
3. 受付開始：14：00

14：15～16：15

演題「社会資本の維持管理の現状（仮題）」

講師：技術士（総合技術監理部門、建設部門）：一般財団法人 橋梁調査会 岡本利朗氏

4. 参加費用：技術士会会員：1,000円 非会員：2,000円

5. 技術交流会（発表会の後、実施）17：00～19：00

素材屋金山店（南口）（TEL：052-681-7766）

会費 3,000円

e-mailによるお申込みの場合は、件名を「愛知県支部第2回例会」とし、部門、氏名、交流会の出欠を明記の上、日本技術士会 中部本部(g-chubu@asahi-net.email.ne.jp)宛て、お送りください。

ご回答は、5月22日（日）までをお願いします。